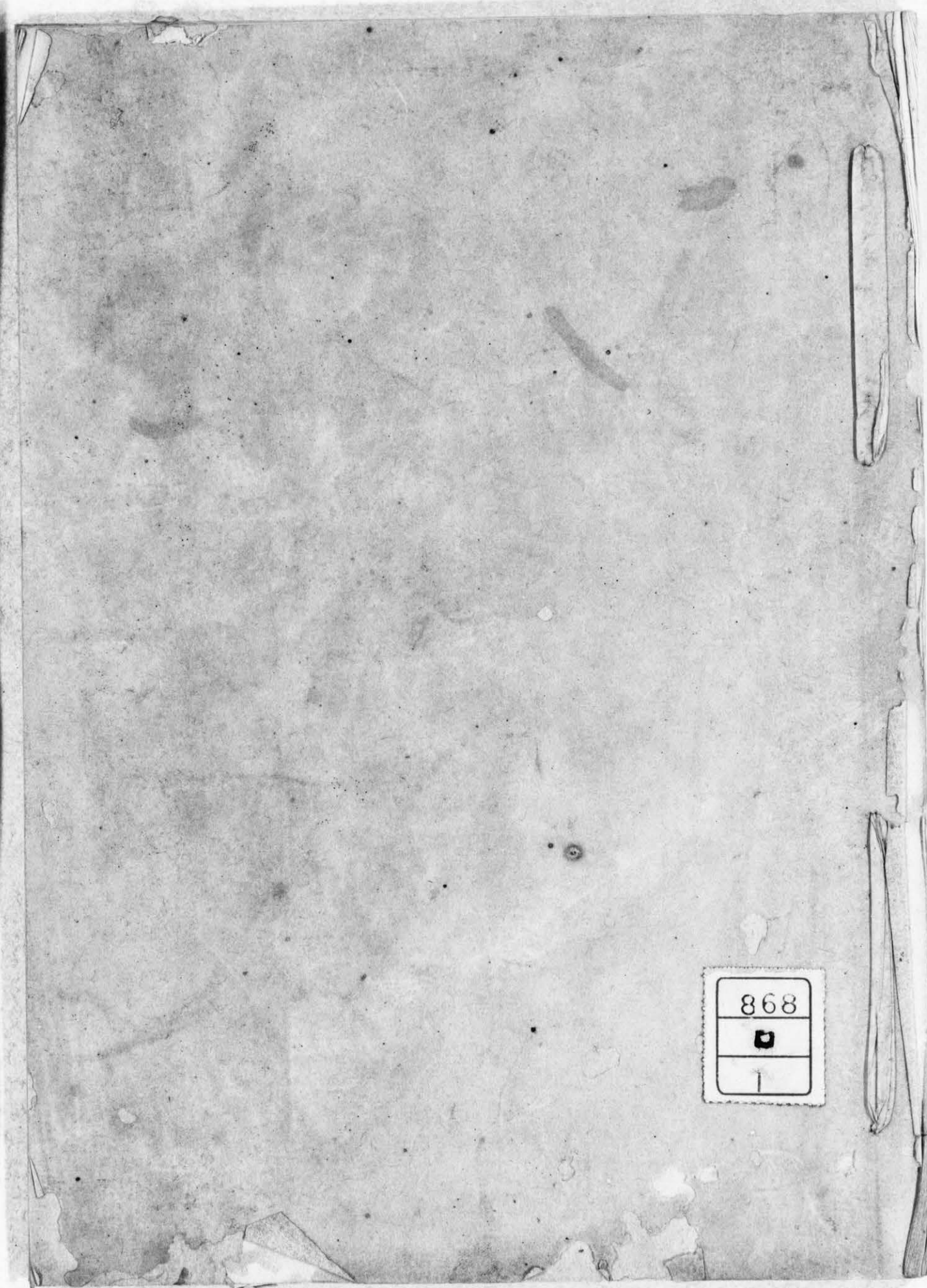
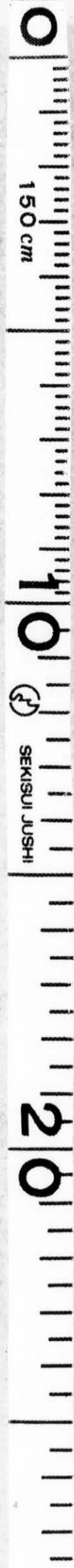


868
5
1





六貫目出入金筒畫相圖玉揚但葉口拾後
五寸三歩

雲龍赤金

一 銘切し片々重し者亦ありあやふ合五寸三歩
 但しちきりや也玉拾後一外法一四寸八歩
 一 道長き寸八歩伴一道系調子教すも上迄得
 右道金物玉北内やきく一也少く一内道管也
 下と庫皮がし棚と附卷又道金物く一也内
 寸く一也一と一庫皮少寸九中一し棚と附
 外法取し者是一道く一也少く一と寸一と相通

管海波々巻上と又平草中綴と附巻々吉
右々道金ね玉めととゆふさす一紙

[illegible]

て吉

老々之命龍々々々此

以以所

一 破業大凡之類、太い玉の内逆管、紙袋、所業と
く利障、相と業、下は方、すう、ぬ、と、少、入
可

[illegible]

- 一 書上法之重凡九拾月斗有
- 一 書相み枝成る二偏厚之代名より一と一と色居
- 一 抄業大月百又と抄業の増下
- 一 道業此の教より口業二重計の凡何の居
- 一 四月八百月の代名
- 一 雲龍結を而み時と云指をて七建合を入下
- 一 雲龍結を指をて長し抄業より入下より方と
- 一 中より又方より中より又と書法

成教より又成なる凡百の教

- 一 雲龍三色之篇の時長し而八間斗重し此方より
- 一 分斗は方より中
- 一 鳳磚ホウレン中より指をて也五節の時長し四節を宛
- 幅より細く改めし方より中より方より又
- 七節の時又幅をて一と入下より長し
- 一 斗宛重し方より中より方より中
- 一 群龍 中より五節 破業二節 大月
- 一 古龍の指三毛又中より教より中より又二節又三

抄りたる赤雲入増城者一也目より合中
龍の爪玉指指道附内から破葉入馬皮より入にて
法に破葉と色又馬皮より八寸九寸よりと馬皮
とをとり外から一と龍の通に外は月井皮と
多指法に井皮と下指法に一と龍の指と指又上と
馬皮八寸九寸は色吉赤と中指指より指より
と合抄りたる名に古同の古何の古何
八分五厘也

一 紫雲 抄りたる紫雲破葉六指大

太紫を二斤入掌り只百指紫葉赤雲は外より
一 抄り八寸少宛増城の昔

又龍入付八指と又我より長十二間紫を二斤
又紫斤半也目より合入る者

一 玉雲 抄りたる玉雲破葉大凡八指

右玉雲重く玉雲指玉雲煙指取の事堅成と
粉より細く指取より面一又焼砂と同指取
より通一史と多指指破葉より漆干より吉尤破葉
指取玉雲指一と云物有能事れたる一と

史と湯のりとを煮て湯を右に湯砂と堅炭
煮て湯を合入る

右の丹前より紫豆のり又龍を入る前同

一 煙柳 如重十貫目 破葉大凡百貫

右煙柳を数百九貫目と有

葉法 塩硝百目 硫黄少れ 灰十貫

松やに龍が生紐十貫

右より松やに入る研に砂を切海せし吉
此一割より六貫目と有る吉と振振に炮屋焼玉

通より小く振る右煙柳を湯に同く
右八段に造立し吉と丹前と吉と仕立る同く



煙柳玉のり

一 丹前八貫目少く増減を若く葉大凡百貫

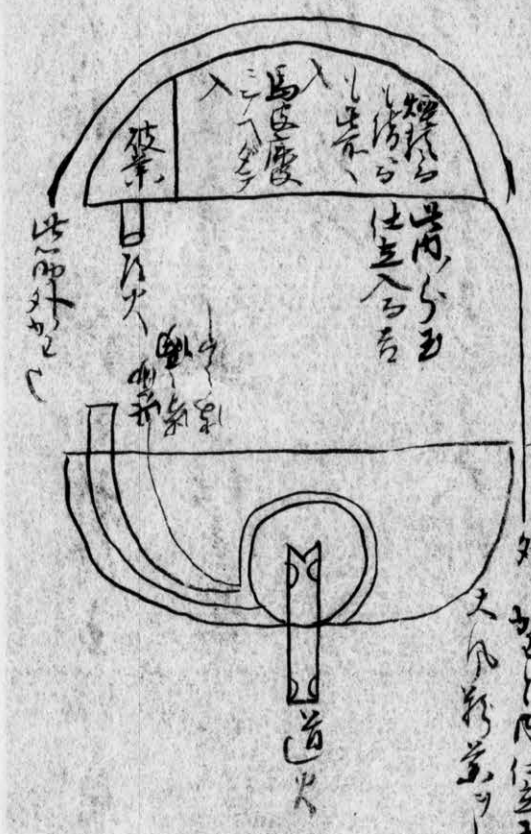
右煙柳の時天にサハハと近き所より丹前と葉を
いれ丸く少くし定置り有る丹前と天に
煮る六貫目と有る

一二段葉 張板紙を二と用ゐる

右玉振振する玉と丹前とを煮て天に焼く又

煙の仕度内諸所を玉同の内通長八歩
 口より又内通長八歩又内通長八歩
 斗の内通長八歩又内通長八歩
 六ヶ又火桶より又内通長八歩
 又内通長八歩又内通長八歩

二反釜玉
 二反釜玉



外下口より内通長八歩
 又内通長八歩又内通長八歩

右二反釜玉の内通長八歩

中法より又内通長八歩

一 煙口より内通長八歩

一 斗の内通長八歩

一 落葉 玉同の内通長八歩

破釜大風二反

落葉の内通長八歩
 又内通長八歩又内通長八歩
 又内通長八歩又内通長八歩
 又内通長八歩又内通長八歩

増減あり九重に皇宮折又破業より馬皮落葉より
才康厚より能へたより包只傳又より北後市より月より西玉

上仕立右同氏

一 九月八日。少食。不若。少食。百。又。十。少。也。也。

一
班龍
玉女
合五音
破美大風六指

一仿長武松石方之筆法

すゝ之、所ん結、之、又色、好、等、幅、是、了

修之海又我之志故也。修之班之付立。

古太海
月立紅
龍上
名附
萬事

龍之振々同事之友 書男

一、四月、五月、少、增減、之、若、步、常、大、風、百、日、。又、拾、五、

武松

右五梅、竹、金同此種之本、同為古石所、題月

七月日少，增減不若去年，金風子八日又九日。

ふ止想る如梅玉かし月に入らぬと考へ想月を今

吉士仕立 九ノ念ノ中ノ疾急痛苦時

平坡外山來萬事休心悟一子知

六貫目玉金筒玉揚夜之相圖

一 玉連星 玉筒之上方合重之管月破美大凡見之

右玉連星燒玉較重少入重管之管有

玉玉葉之月

一 塩硝 百目

硫黄 百目

灰 百目

生鵝 百目



玉形如斯吉

右燒玉揚夜玉筒之時志く少く高熱止く吉皆
向く又竹此筒より流出たる玉相壁之竹此
筒と少重少重と四割くく皆重と云也

切合玉筒一玉切合八段下玉と一層上玉と一四段切合
口清右玉切合玉筒此玉又小口より玉と道所の玉
玉筒より玉と千一能く千一より大く玉筒大
道条と玉粒細き玉粒管わくく少く細く玉
より切合玉筒玉筒入く上と細き玉と細玉筒
吉其上と廣く玉一編張其上玉落く大凡此玉
玉筒上玉切又玉と玉と玉と玉と玉と玉と玉と
切刻く大凡玉筒玉と玉筒玉と玉筒玉と玉筒玉と
玉筒玉と玉筒玉と玉筒玉と玉筒玉と玉筒玉と

二平付、包満きのあつた物、一、造り、破棄せ
 去市、九く入る、一、相又、兩方、好む、一、少、造る、一
 義、濃、浅、好、賣、買、と、能、一、と、み、つ、る、大、風、好、能、と、能、
 播、引、つ、る、片、好、と、好、方、と、能、た、一、一、と、あ、方、好、能、と、今、
 今、合、口、方、太、く、賣、買、浅、く、也、と、一、と、合、口、き、う、つ、る、相、
 切、玉、一、行、一、少、く、半、太、く、と、吉、治、く、太、く、一、と、能、
 太、く、也、一、一、と、太、く、は、一、と、一、と、相、圖、一、と、能、

一 五月八日。占。以五折。也。女。其。夫。以。百。り。と。云。也。

一
獨曜生
玉如
萬方合堂
三石
破雲大凡
百月

右獨醒堂六十八堂十三百月

獨醒星藥法

一 塩硝 百斤 硫黄 三斤 灰 五斤

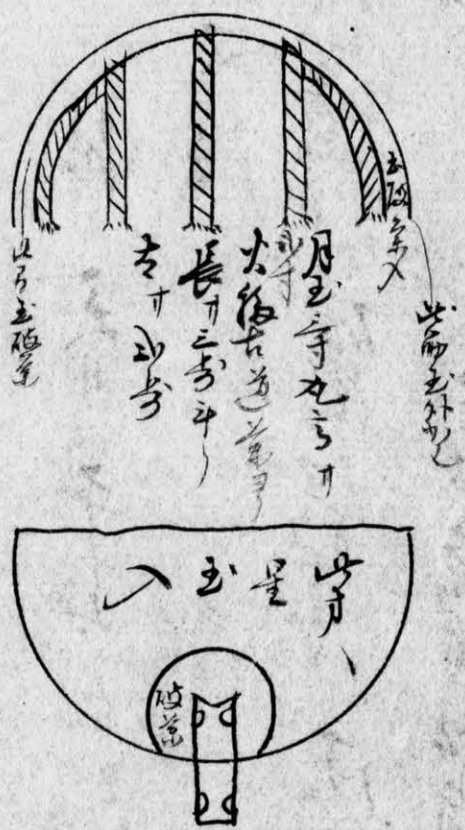
右調合を北内へお送りし奉り候に
又灰二斗とて一斗は入又松指石と粉
一斗は又右調合とて押粉にて練り
く通し相成る迄と後に入浴せむといふ所
より此酒の水等も合らるべき金程強
うき事日斗とて飲たなり合らる中下中薬

今有吉也。玉上法之。并同。以。此。星。下。川。院。小。刻。
 一。七。事。

一。月。光。星。玉。也。有。方。合。掌。止。方。有。破。星。大。凡。重。背。
 又。星。教。者。入。太。少。之。增。減。一。方。之。重。止。星。背。
 又。月。星。下。而。有。物。

月。星。之。法。

一。塩。硝。万。月。硫。黄。八。背。灰。八。分。生。紐。五。分。



右。玉。上。法。之。法。一。也。一。用。星。之。法。推。教。千。
 斗。一。也。一。星。之。法。見。于。古。圖。一。也。一。刻。立。火。物。之。
 星。之。十。分。入。玉。上。而。有。古。道。一。也。一。星。之。相。
 一。也。一。大。凡。一。也。一。星。之。法。見。于。古。圖。一。也。一。刻。立。火。物。之。

墨象之法

又法

一
塩硝
石

疏廣 子程

天分

凡大者必如所云之方大也附
其門少主之方少者也

右量諸集星、通其外上仕立前、因以

一、忽自八月六日，忽然起大风，百有五十里，上
花乱星，如如之，南方合市，皆如雨，破屋大风，百有

花乳量藥之法

二編

吉天

自玉 仁

七好月

一 二千七二ム
カナロ石尾

四万青

一金川

一丹

二万月

程

黒煙

工

イ 二

一 塩硝

古細生

一 ケイクワン 二好家

是 吹弱りて元美

一 釘

一 水銀 新

い 二京ラ 一夜夜交金

わ 二京ラ 研 三郎 二

い 京 伊 三郎 二

文 金 三郎

右 里

一 忍 目

一 花 乱 果

一 工 十 一 口 石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

石 黄 二 分

大玉之諸所通火——中より合り給へ諸し言先其れ中
へ破葉入り得其外より上は是等なり

一 越月八日より十日間止り少量大風有り此三節止

一 火柳星 此れと東方の星なり破葉大風有り
火柳数日あり重なり此れ又数日増減し
なり少く遠く——此若し此れなり合

火柳星並に法

此れ此れと焼く

一 塩硝有り 硫黄 此れなり

灰ハ有り

一 灰硝我十偏張板

火柳の法
火程
此れ此れと焼く
此れ此れと焼く

長き寸中より一寸八分寸止り合ひ也——

右葉此れ一也、凡そ此等程迄は右葉数枚なり此れと
併ねたより火柳——今より此れ諸より——中へ破
葉入星下目より此れと上は是等なり同し

一 越月八日より十日間止り少量大風有り此三節止

一 飛蜂星 此れと東方の星なり破葉大風有り

飛蜂星数日あり重なり此れ又数日増減し
なり少く遠く——此若し此れなり合

飛蜂星並に法

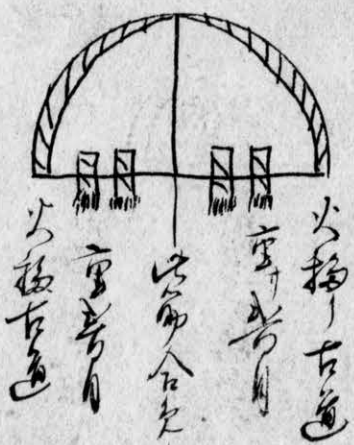
右亭水上新池少入渠多者

月景之法

一 鹽 硝 百 礮 萬 羅 骨 法 界

右之水は為新少入望る旨

望北望南又大江南北
推新舊斗地



日月五星之光星日月
之

無上法之第一要

[illegible]

一三光右日月通下日月金之少小方格星至小

一入名星、玉通星之氣、乃吉、美事、無、凶、凶、

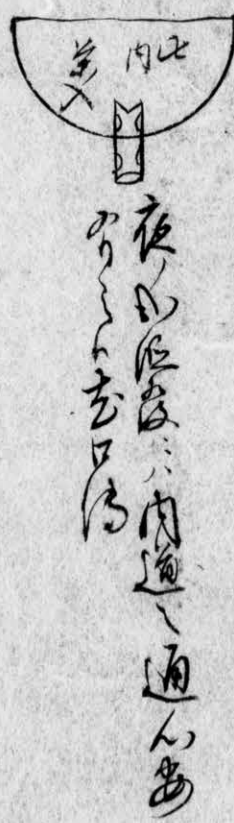
一七曜又九曜

右日月、風、雲、龍、虎、山、水、外、如、玉、石、切、合、入、各、書、

又通月内也。此二つ切合の吉也。諸般合指は吉也。
 加合と志大なり。

右の法は通星又龍龍星又夜月行の時、
 好月、丁夜、右星、此は法、火、指、通星、通
 一吉、其外、此は上、吉、事、吉、り、光、九、曜、也
 包、此、吉、切、合、此、吉、也。

一二段、此は通星、此は通二段、此は行、此は好也。



右は、此は、通星、此は、通二段、此は、行、此は、好也。

晝夜相圖道系之法

一 塩硝 硫黄 汞 灰 此は、通星、此は、通二段、此は、行、此は、好也。

右は、此は、通星、此は、通二段、此は、行、此は、好也。



晝夜相圖道系之法

此は、通星、此は、通二段、此は、行、此は、好也。

一 木筒鏡金之圖



晝夜相圖道系之法

此は、通星、此は、通二段、此は、行、此は、好也。

入替入替、又人月々挿入は、油の量、所々可成
 以味、挿入の多寡、又、挿入の回数、挿入の切替、
 必、主入りの回数、又、挿入の回数、挿入の回数、
 中、挿入の回数、又、挿入の回数、挿入の回数、
 少、挿入の回数、挿入の回数、挿入の回数、
 史、挿入の回数、挿入の回数、挿入の回数、

本簡火通之圖

集中折返四刻少付



同より
思割折返し折降

火定長升或為五色右河之原升五色斗之舊金為本只

一、少揚より同は抵治之事、臺原より也。一尺三寸半の堀也。
下名其臺原より六リ又力とみす、此れ之れ事、之れ儀
一、諸ウメ込切しものと十枚申、至臺原より如く木同敷し
通に成て之無き、ハ古儀、中儀申、之れ泄立又古儀
と御川より如く之付々有、通に儀成、或る少也
火穴より古儀を儀、此等にて各又大とさし、此時火穴
通着より上、是と泄つし、火穴比吹き也、之れ少少を希

二六附下——終んじ入念——又たさ——常火官通
人必、居る處又夜火官に於て向て我を至る上、口業
守て右夜に於て我を至る上、口業守て金同
遠本同、所用、肝要也

- 一 右書後——右圖、月、少、多——金同、此、積——本同、
時、月、七、日、右、左、右、此、積、金、少、若、少、多、八、日、
九、日、又、二、日、右、左、右、此、積、減、不、後、
七、日、月、八、日、右、左、右、此、積、六、日、外、
一 三寸、玉、本、同、果、中、長、一、寸、五、分、上、四、尺、近、果、中、一、寸、

液、九、寸、元、口、同、業、持、是、尺、中、書、後、一、寸、也、月、三、
寸、道、長、五、寸、五、分、

- 一 四寸、玉、本、同、果、中、長、四、寸、上、四、尺、近、果、中、一、寸、液、
五、尺、元、口、同、業、持、是、尺、中、書、後、一、寸、也、月、四、寸、
道、長、五、寸、六、分、

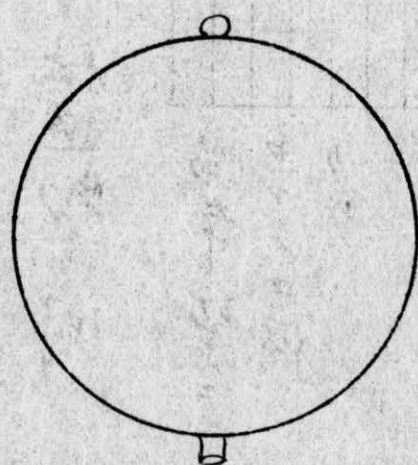
- 一 三寸、玉、少、金、同、子、三、寸、月、五、分、上、
一 四寸、玉、少、金、同、子、四、寸、月、六、分、上、

右、道、長、五、寸、五、分、上、月、入、果、中、四、寸、合、格、五、寸、也、
右、可、指、口、傳、

揚物之書

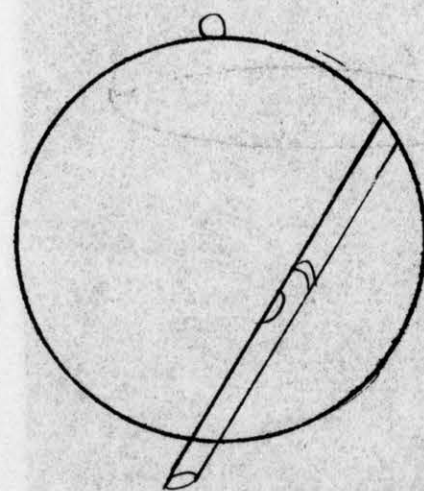
七

夜玉仕上圖

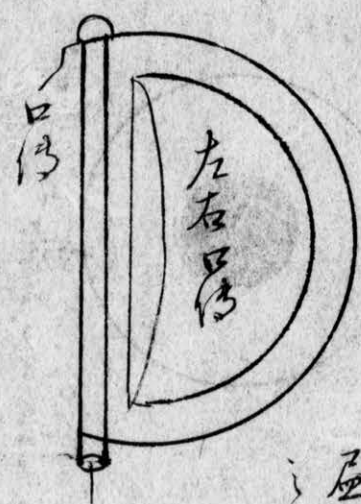


三

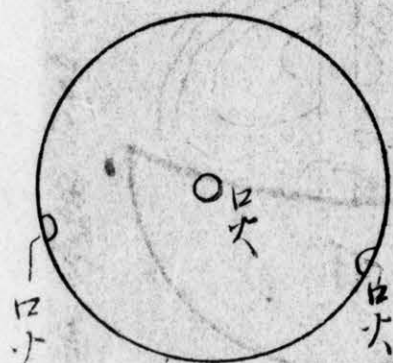
白雲外端

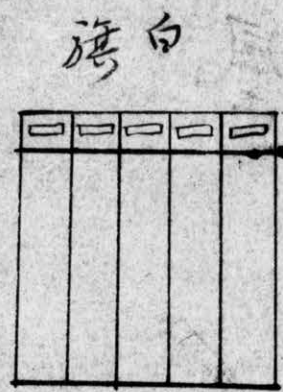


屋簷仕上
之玉

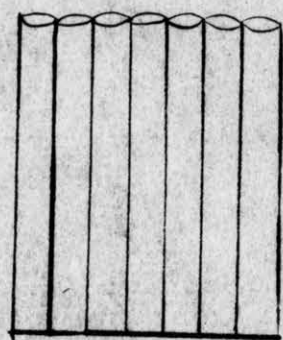


白雲中仕上圖

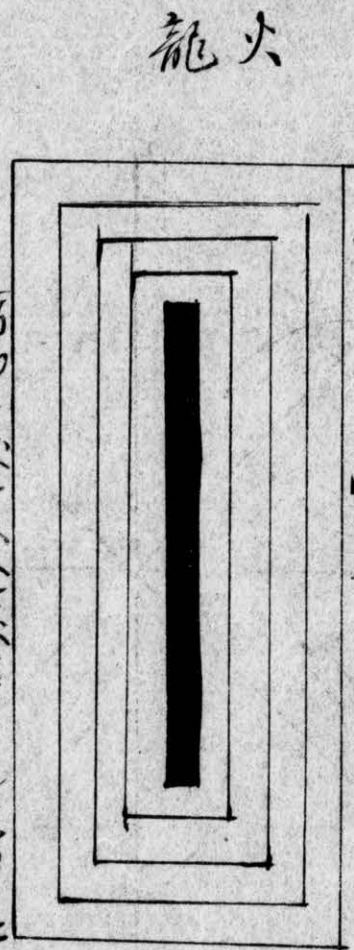




白障子
カクワ、
口方



白障子
カクワ、
口方
サツト下ルヲ
口侍

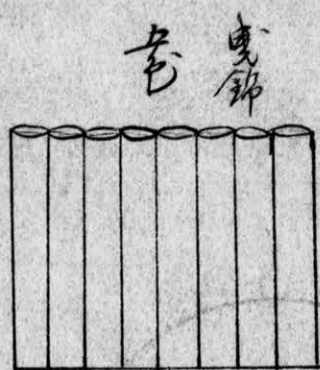


口侍

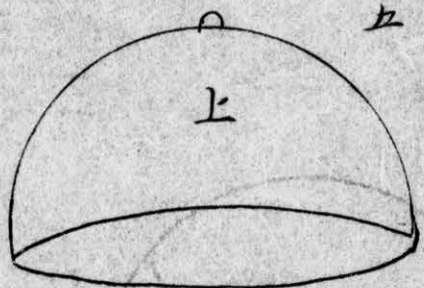
火龍
第八歩後死包
白ニカニテツ、ミアイヲ
ヒヨル上ヲ備ハル
幅四寸ニ作ル



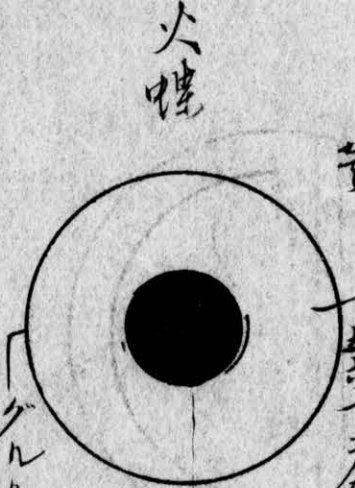
火龍
青ニカニテツ、ミアイヲ
ヒヨル上ヲ備ハル
幅四寸ニ作ル
ヒク也



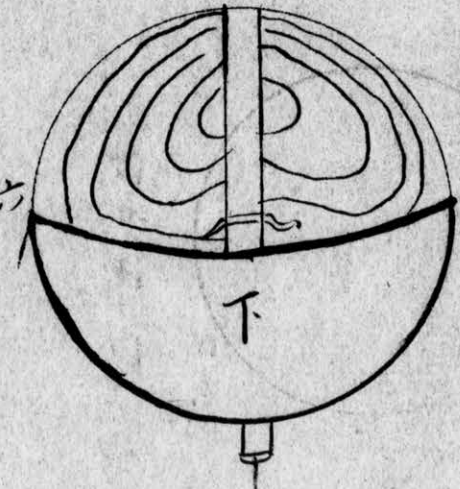
火龍
幅四寸ニ作ル
セマク口侍
カク



仕込物ノ圖



火龍
ケルリクイサキ
ノリツケヨウ



下

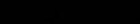
少、口品方長、老字、

廿年

龍針金
ツク糸
長九尺

系又計金

雷



切し地ニタエミツニ
上リ抄ミテハル

華々川守家
四寸七厘幸十
ナカ又或り中
ニハマデ
三寸五厘四八
五寸十五

龍針金

王

口五十二号

長

衣正
口を穿て少穴ハツ穿てハ付ハ口を穿て少長同穴同

スニテ一編する

竹筒

カサニテニワニ入

長年守五戒コム也

三巴

木角

只字長考中、考天ノ針金ニテツル又サトウ系

祥龍

作

口
三
夕
夕

京方二万五千石

下リ龍

只步

完方大姉

三寸十八寸

四十一

五寸五十分

長子五十六位

時而龍

一、小力、口、二步、長二寸、二百位、仕込、龍、前、同、板、墨、

火乱星



子りモノ又折込ニテモ
五ノ左ノ八九等ノ角ノアル
ヤウニスル

玉柳

一子りモノ又サ込玉柳ノ右同
一柳カミワ、楊柳ワニ同

柳ノ鞠一柳右同一ツリ九寸位子りモノサ込又ノコトク

綱字



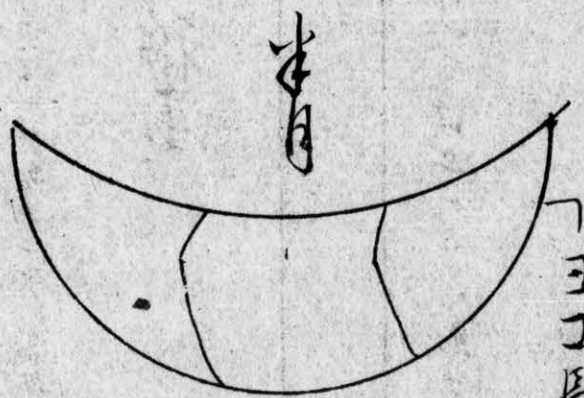
三光

月



子りモノ
八寸位玉柳サ込マテ
尺ノ玉ノトキハサ込位

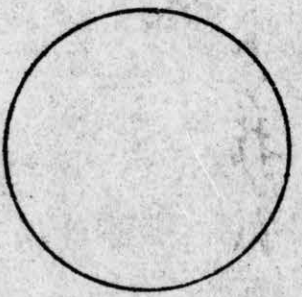
ヨコ長九寸位



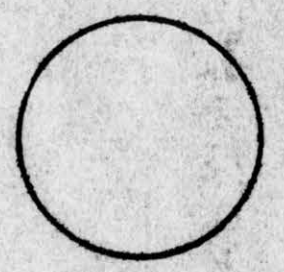
半月

又リ糸ミレテ
月ノ形跡ノヒレ
ニラワケル
は立掛板、紐中紐

日子りモノ



星子りモノ



子ノ業ヲ指シノ如クテ數多仕込少長ニテスル

五ノニテ包ニ三ノ又

稻書

市之口五古詩一首

シスサニテ子ウバ、シエノリ入
拾ひ

ハカハカハカ

モロモロ

皇太子が五重十六地マヅカナリ
 十の
 五の
 六の

ナニハハ多ク入りて入
ナニハハ多ク入りて入
ナニハハ多ク入りて入

東坡先生

千
里の風を待つ

又古字ツヅクナルに
上カニツ、長手ナリ

白
十
シ

加
家
考
四
心

音 破 入 穿 疑

書
抄
卷
之
一
上

一
白瀧

一
祥峰

一下龍

一
時
龍

一火乱量

折八五八下
千五九五五下

一
少柳

一
柳菊

一光

一千咸

一
武松

一
櫻

一
系

一
系柳

古
之
中
心

古
五
京
京

十
三
五
七
九

十
五
五
五

十金
九金
五金
九

七五七

抄
卷
五

抄
十
五
生

卷之九

刊本
素
卷五

十
五
七
ト

十
七
五
三

子
少
六

カミシニヤワスカニムル
六八

七言詩一首

抄本

一 時の紅葉

一墨下
十
十
十
十

一
狂龍傳

一
一
十
五
五

水口五号 壬午七月五日 試見書
八分 七卷 四卷 四卷
小印

一
祥
覺
板
玉
三
五

一時百花車

一
震
十
九
七
六
五
四
三
二
一

一
稻書
知不足齋
子
子

一千筋

一繩簾
十人
少
四

一玉屏抄卷八

一
千
特
十
七
分
五
角
九

一教車
十
三
三
三

一
八島
十
三
五
下

一星
十金
九金
五金
五金

一
十
八
六
三

一八五十六年

一水精玉

一満天星

一萩

一大機

一乱串

一千本宗

一時雨能將

一各處

水精玉

九

九

九

満天星

七

六

七

萩

八

六

十

大機

下

下

十

乱串

下

下

七

千本宗

下

下

十

時雨能將

下

下

中

各處

下

下

十

一火替

一明星

一五星

一七星

一大機

一金銀庫

一祝玉進龍

火替

火

火

火

明星

八

七

七

五星

七

七

七

七星

八

下

九

大機

下

下

下

金銀庫

下

下

下

祝玉進龍

下

下

下

下

下

下

下

祝玉進龍

11/05/11